

産業厚生常任委員会資料

令和4年7月20日

健康福祉部 福祉総務課

東条福祉センターとどろき荘の運営状況について

目次

1	入浴者数の推移	1
2	入浴者増加への取組状況	1
	(1) イベント企画	1
	(2) 情報発信・PR	1
	(3) 年末年始の営業実施	1
3	収支状況について	3
4	とどろき荘の強みと課題	5
5	収支改善の取組	5
	(1) 入浴単価改善のための割引の見直し等	5
	(2) 電気の効率的な使用	5
6	令和4年度の入浴者数及び収支の見込み	5

1 入浴者数の推移

令和3年度は、下記の緊急事態宣言等の発出や修繕工事による休業により入浴者が減少しました。

上半期（4月～9月）は、緊急事態宣言等の発出による休業や営業時間の短縮の影響があり、前年度同期間と比較すると、84.0%となりました。

下半期（10月～3月）は、通常営業の形態に戻ったことやシーズンキャンペーンの効果もあり、毎月の入浴者数は、前年度と比較すると89.9%まで回復しました。

年間を通し入浴者数は43,432人となり、前年度の入浴者数（49,602人）の87.6%となりました。

なお、緊急事態宣言等の発出による休業及び営業時間を短縮したことにより、入浴者数が減少したと分析しており、この分を考慮すれば、入浴者数は53,269人（令和2年度比92.1%）になったと推測します。（P.2参照）

（緊急事態宣言等の発出状況）

令和3年4月	5日～4月24日	まん延防止等重点措置
	4月25日～6月20日	緊急事態宣言
	6月21日～7月11日	まん延防止等重点措置
	8月2日～8月19日	まん延防止等重点措置
	8月20日～9月30日	緊急事態宣言
令和4年1月	27日～3月21日	まん延防止等重点措置

2 入浴者増加への取組状況

（1）イベント企画

- ・夏休み親子入浴者へのプレゼント企画（アイスクャンデープレゼント）
- ・回数券販売促進キャンペーン（年4回）
- ・オータムキャンペーン（複数回入浴で応募できるプレゼント企画）
- ・とどろきカフェ
- ・和太鼓であったかINとどろき

（2）情報発信・PR

- ・イベント告知のダイレクトメール（はがき）を発送
- ・ホームページ、SNSによる情報発信

（3）年末年始の営業実施

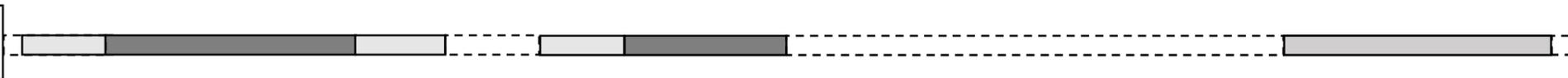
12月30日から1月2日まで

〈令和3年度 入浴者数の推移〉

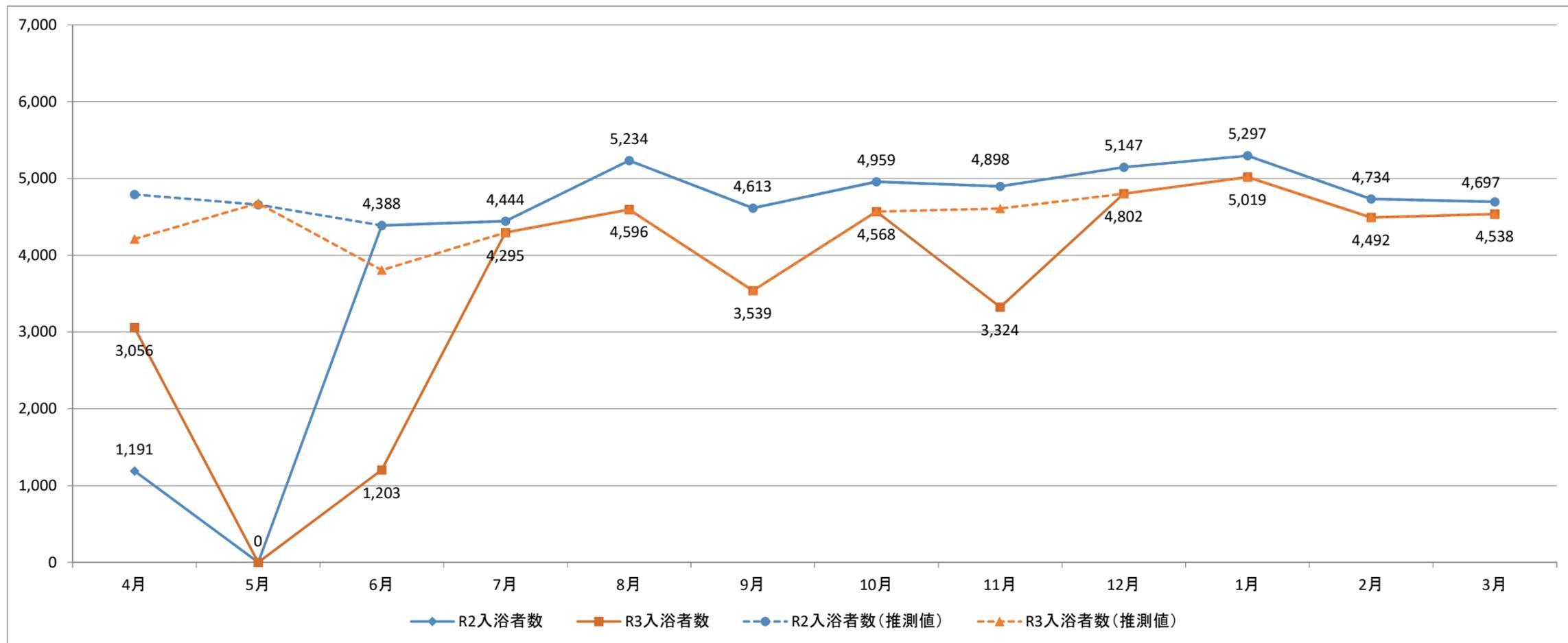
	(単位・人)												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
R2年度入浴者数 (推測値)	1,191 (4,790)	0 (4,658)	4,388	4,444	5,234	4,613	4,959	4,898	5,147	5,297	4,734	4,697	49,602 (57,859)
R3年度入浴者数 (推測値)	3,056 (4,211)	0 (4,677)	1,203 (3,806)	4,295	4,596	3,539	4,568	3,324 (4,726)	4,802	5,019	4,492	4,538	43,432 (53,269)
前年度比 (%) (推測値) (%)	256.6% (353.6%)	- -	27.4% (86.7%)	96.6%	87.8%	76.7%	92.1%	67.9% (96.5%)	93.3%	94.8%	94.9%	96.6%	87.6% (92.1%)

76.3% (4月-6月), 84.0% (4月-7月), 87.0% (7月-9月), 84.6% (10月-12月), 89.9% (10月-1月), 95.4% (2月-3月)

緊急事態宣言等の
発出状況



緊急事態宣言
まん延防止等重点措置



3 収支状況について

コロナ禍による入浴料収入の減少と、電気料金の高騰による維持管理経費の増加が重なりましたが、国・県による支援措置（雇用調整助成金、大型商業施設協力金等）があり、1,086千円の黒字となりました。

（収入）

令和3年度は、前年度と比較すると入浴料収入は2,993千円減少しましたが、国・県からの支援措置があり、全体で1,740千円の増となりました。

・経営に直接影響する入浴料収入の状況について

第1四半期（4月～6月）は、大半が緊急事態宣言等の発出された期間であったため、入浴者数の減少に伴い、前年度の同期間と比較すると入浴料収入は1,373千円減少しました。

第2四半期（7月～9月）も、前期同様にコロナ禍により、入浴料収入は前年度の同期間と比較すると998千円減少しました。しかし、国・県からの支援措置による一時的な収入があり、これらが休業等による必要経費を補填する財源となりました。

第3四半期（10月～12月）は、11月22日から12月1日に行った修繕工事による入浴休止のため入浴者数は減少しました。この期間を除けば入浴者は回復傾向にあるものの、入浴料収入は、前年度の同期間と比較すると654千円減少となりました。

第4四半期（1月～3月）は、回数券販売促進キャンペーンの効果により一時収入はありましたが、再度、まん延防止等重点措置が発出され、入浴料収入は、前年度の同期間と比較すると32千円微減となりました。

（支出）

事業費は、7月頃から電気料金の高騰の影響を受けましたが、休業により光熱水費及び消耗品の費用が発生しなかったため、当初予算額から1,604千円削減できました。

事務費は、小規模修繕が多く発生し、中でも各種ポンプ類の取替が影響し当初予算額を上回る1,212千円の増額となりました。

〈令和3年度 収支一覧〉

(四半期ごとの入浴料比較)

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
令和2年度	2,863	6,377	7,316	6,762	23,318
令和3年度	1,490	5,379	6,662	6,794	20,325
差額	▲ 1,373	▲ 998	▲ 654	32	▲ 2,993

(収入)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R2決算額	差額
指定管理料	2,659	2,217	2,754	345	2,925	0	646	1,253	1,235	1,666	0	0	15,700	15,995	▲ 295
入浴料	796	0	694	1,553	1,529	2,297	1,240	1,132	4,290	1,602	1,548	3,644	20,325	23,318	▲ 2,993
テナント使用料	134	125	134	116	106	106	167	137	136	136	136	136	1,569	1,573	▲ 4
その他	98	29	▲ 73	1,877	7,298	237	2,086	158	113	▲ 84	16	149	11,904	6,872	5,032
計	3,975	2,409	3,616	4,213	12,248	2,987	4,554	3,074	6,248	3,688	2,124	4,498	49,498	47,758	1,740

(単位・千円)

R3当初予算額	計との差額
15,700	0
31,000	▲ 10,675
1,660	▲ 91
1,381	10,523
49,741	▲ 243

※テナント使用料は、テナント使用料及び自動販売機基本設置料

※その他は、多目的ホール使用料・収益事業の利益収入及び国・県からの支援措置

(支出)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R2決算額	差額
人件費	1,619	1,436	3,244	1,812	1,742	2,799	1,744	651	3,634	1,765	2,445	2,478	25,369	24,016	1,353
事業費	1,738	383	1,014	849	1,119	929	1,685	853	1,706	1,297	2,148	1,159	14,880	15,068	▲ 188
事務費	330	570	2,421	416	169	568	262	323	559	1,193	366	986	8,163	7,406	757
計	3,890	2,398	6,864	3,479	3,310	4,633	3,975	2,100	6,270	4,762	5,369	5,064	48,412	46,490	1,922

(単位・千円)

R3当初予算額	計との差額
26,115	▲ 746
16,484	▲ 1,604
6,951	1,212
49,550	▲ 1,138

(収支差額)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R2決算額	差額
(収入-支出)	85	11	▲ 3,248	734	8,938	▲ 1,646	579	974	▲ 22	▲ 1,074	▲ 3,245	▲ 566	1,086	1,268	▲ 182
	▲ 3,152		8,026			1,531			▲ 4,885						

(単位・千円)

事業の継続を支える支援措置(受給済) (単位・円)

- (1) 雇用調整助成金(4～9月分) …… 3,797,726 …「その他」収入に算入
- (2) 緊急雇用安定助成金(4～6月分) …… 559,524 …「その他」収入に算入
- (3) 大型商業施設協力金 …… 6,702,000 …「その他」収入に算入

計 11,059,250

※市による休業補償は、大型商業施設協力金等と重複するため、実施していません。

4 とどろき荘の強みと課題

とどろき荘の入浴者は、「近隣に在住し温泉を好む60代以上の高齢者が約7割を占めている。近場で泉質の良さを目的に入浴されており、遠方からわざわざ入浴される施設ではない。また、2か月以内に20回以上入浴されている常連客が64%を占めている」ことが特徴です。

これらの利用者から「とどろき荘の泉質は他の施設より良い。体の芯から温まり冷めにくい」という、嬉しい声を多くいただいております。泉質の良さや常連客の多さが強みです。今後は、これらの強みを維持しながらの入浴単価を改善していくための顧客管理や分析力の強化、また、老朽化している設備等の修繕に要する費用対効果が課題であると考えています。

5 収支改善の取組

(1) 入浴単価改善のための割引の見直し等

- ① 回数券の販売促進時に付加する、割引券の配布枚数を2枚から1枚に減らすことにより入浴単価の改善を図り、年間438千円の増収を見込みます。
- ② 情報誌まるはりへの無料掲載（令和元年度開始。無料優待入浴券付き）による、新規入浴者の集客を図ったが、再入浴につながらなかつたため廃止します。

(2) 電気の効率的な使用

割引のある夜間電力を多く使用すること、デマンド装置を有効活用し、エアコンや機械設備の稼働時間及び、貯湯槽の昇温のタイミングを図り、使用量のピークを抑えることで、電気使用量を抑制します。

6 令和4年度の入浴者数及び収支の見込み

令和4年度は、約59,100人の入浴者数を得るため、低温浴のPR、イベント再開、他施設より低額な入浴料のPRを実施します。

しかし、昨年度から続く電気料金の高騰により、事業費が増加し、収支バランスの取れた運営が難しい状況で、約2,239千円の赤字が見込まれます。（P.6参照）

<令和4年度 入浴者数・収支の見込>

① 入浴者数

(単位・人)

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3年度入浴者数	3,056	0	1,203	4,295	4,596	3,539	4,568	3,324	4,802	5,019	4,492	4,538	43,432
R4年度入浴者数	4,426	4,615	3,986	4,725	5,377	3,893	5,482	3,989	5,762	6,023	5,390	5,446	59,114
前年度比(%)	144.8%	-	331.3%	110.0%	117.0%	110.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	136.1%
	305.9%			112.6%			120.0%			120.0%			

② 収支

(収入)

(単位・千円)

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指定管理料	2,770	1,271	3,326	1,310	1,595	1,370	1,639	52	1,114	1,253	0	0	15,700
入浴料	1,233	1,475	3,371	1,556	2,036	2,631	1,928	1,459	4,719	2,087	2,102	4,008	28,605
多目的ホール使用料	31	275	29	62	62	62	62	62	62	62	62	36	867
その他	119	250	100	270	270	270	270	270	255	254	251	251	2,830
計	4,153	3,271	6,826	3,198	3,963	4,333	3,899	1,843	6,150	3,656	2,415	4,295	48,002

※その他は、テナント使用料及び自動販売機基本設置料、土産物売上利益等

(支出)

(単位・千円)

	4月(実績)	5月(実績)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人件費	1,725	1,759	3,398	1,942	1,759	2,934	1,760	738	3,642	1,760	2,384	2,296	26,097
事業費	2,049	733	1,811	998	1,904	972	1,965	803	2,088	985	2,082	1,010	17,400
事務費	379	779	1,617	258	300	427	174	302	420	1,138	238	712	6,744
計	4,153	3,271	6,826	3,198	3,963	4,333	3,899	1,843	6,150	3,883	4,704	4,018	50,241

(収支差額)

(単位・千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(収入-支出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 227	▲ 2,289	277	▲ 2,239
	0			0			0			▲ 2,239			